

【コーディネーター選定理由書】

コーディネーターの選定基準

- ① コーディネーターの最低限の役割は、時間管理と公平性の維持を担保することができる。
- ② コーディネーターの基本姿勢を踏まえることができる。
 - 1) 一番重要なのは、公正中立・不偏不党
 - 2) トラブルには冷静かつ厳正に対処し、秩序ある進行を
 - 3) 機会の平等は必須、結果の平等は必ずしも気にする必要なし

参照:2019 年大阪ブロック公開討論会マニュアル

選定候補者

- ① 高槻市の高校生(高槻高校生徒会代表)
- ② JCI 高槻 加藤理事長
- ③ JCI 高槻 渉外委員会メンバー

結論

コーディネーターの選定は成長の機会の提供という観点から JCI 高槻メンバーでも可能と考えました。しかし委員会メンバーの担いが多く、コーディネーターとして選定すると他メンバーへの負担が増大することが懸念されます。また本公開討論会は、対内の例会ではなく、対外の方に長期的に見られるものとなっております。そのため対内の例会や他の事業と少し違い、完成度を求められる事業だと考えます。事業の趣旨、地域のことの理解度、討論会を行う際の立ち振る舞い、トラブルが起きた際の対応能力等を総合的に判断し、**【加藤理事長をコーディネーターに選定】**することにいたしました。

【対内サブコーディネーター選定理由書】

- ① 大石委員
- ② 南委員
- ③ 川本委員

当公開討論会のメインターゲットを若者と定義しております。入会経験が浅く 20 代の委員を選定することで、親近感を持って討論会に参加していただけることが期待できます。また入会経験の浅い会員がサブコーディネーターを行うことで積極的な参加を促すことが期待できると考えました。その上で当日、他に担いがないメンバーであり参加率が高く必ず担いを全うしていただく必要があります。以上の理由により**【大石委員をサブコーディネーターに選定】**いたしました。